

メールマガジン埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.219 2017.9.1

県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」 8月27日(日曜日)放送分「各会派代表者に聞く2」

県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」では、県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメルマガでは、ご覧になれなかった方のために、先月27日に放送した「各会派代表者に聞く2」の内容をお伝えします。埼玉県議会公明党議員団の西山淳次団長と無所属県民会議の鈴木正人代表に会派としての取り組みや今後の抱負などについて伺いました。

明後日3日(日曜日)には、「各会派代表者に聞く3(日本共産党埼玉県議会議員団の柳下礼子団長、無所属改革の会の中川浩代表)」が放送されます。プレゼントコーナーもありますので、ぜひご覧ください！



【放送時間】テレビ埼玉 日曜日 朝10時～

[☆詳しい放送スケジュールはこちら](#)

INDEX



県議会広報
こんにちは県議会です「各
会派代表者に聞く2」



議事堂の花
生け花のご紹介



県議会広報

【こんにちは県議会です】「各会派代表者に聞く2」

●埼玉県議会公明党議員団 西山淳次 団長

西第1区 所沢市 選出
平成11年 埼玉県議会議員に初当選(現在5期目)
平成23年 埼玉県議会公明党議員団団長に就任

— はじめに、番組をご覧の皆さんにごあいさつをお願いします。—

団長 県民の皆さま、こんにちは。埼玉県議会公明党議員団団長の西山淳次です。県民の皆さまには、日ごろからわが党に対しまして、大きなご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。公明党議員団は9人ですが、常に現場目線の政策提案、そして良識ある判断で埼玉県政に貢献していきたいと心掛けています。何とぞよろしく願います。



《今年度の取り組み》

— 今年度はどのようなことに力を入れて取り組んでいきたいとお考えですか。—

団長 県政世論調査をはじめ、各種調査で大変要望が多いのが高齢者福祉の充実です。今後の超高齢化社会にあって、自分自身や家族が安心して老後を過ごすことができるのか、不安に思っている方は多いと思います。その意味でも「地域包括ケアシステムの構築」が大変重要だと思います。誰もが、住み慣れた地域で、医療・介護・福祉のサービスを一体的に受けられるような仕組みを市町村が主体となつてつくり上げていくわけですが、県もしっかりバックアップすることが大切だと思います。

また、広い意味での「福祉人材」の確保が大きな課題です。わが党は、介護職員不足をいち早く取り上げ、県の対策をリードしてきましたが、他にも保育士、福祉施設の職員、看護師といった、いわゆる「福祉人材」が不足しています。あの手この手を尽くして、福祉や医療の現場を支える人材の確保をしていかななくてはなりません。

他にも、公共交通機関の再編整備で高齢者の足を確保していくことにも力を入れていきたいと思っています。

《横断歩道の補修について》

— 他に重点的に取り組みたいテーマはありますか。—

団長 今年には特に横断歩道の補修に力を入れていきたいと思っています。
実は、公明党の強い要望によって、29年度の県予算で横断歩道の補修予算

が対前年度比70%増の約2億7300万円と大幅に増額されました。私たちの身近には、消えかかって見えない横断歩道が結構あります。今年はそれを一気に解消したいと思っています。

一方で、信号機の予算も県内全体で41基分と増額はしたのですが、私たちの実感では、まだまだ全然足りないと思っています。県民の皆さまの要望に応えられるよう、さらに頑張ります。

《教育について》

— 私たちが安全な日常生活を送るために必要なことですね。次に、教育についてはいかがでしょうか。

—



団長 近年大きな課題になっている教員の負担軽減を重要な課題と捉えています。本県の調査でも、小・中学校の教員が平均して毎日3時間もの残業をしていることが明らかになりました。中学校では1か月でなんと約150時間という驚くべきケースも散見され、教員の長時間労働は大変深刻な状態です。この長時間労働で疲弊してしまう教員もいますし、ひいては子どもたちの教育にも影響を及ぼしかねません。退職教員の活用や部活動への外部指導者の活用など、知恵を絞って負担軽減策を急がなくてはなりません。

一方、学校を応援するという意味でも、ぜひ推進したいのがコミュニティ・スクールです。

コミュニティ・スクールというのは地域の保護者などで構成する学校運営協議会が設置された学校のことですが、この学校運営協議会を通じて学校を地域に開き、学校を地域と共につくっていくという試みは、大変意義あるものと期待しています。

さらに、新しい学習方法として注目しているのがアクティブ・ラーニングです。従来の一斉講義型ではなく、生徒同士の話し合いや発表を通して深い思考を促す学習方法です。私も県内外の実践を拝見してきましたけど、とても素晴らしい授業でした。この芽が大きく育っていくように応援していきたいと思っています。

《県経済について》

— 県経済については、どのようにお考えですか。—

団長 大きく眺めますと、圏央道が成田まで開通し、東北、上越、北陸という各新幹線が通っている埼玉県は、交通の要衝としてますますその重みを増しています。実際、新たな企業立地も全国有数です。ですから、その優位性を生かした産業・観光の振興策を構想して、具体的な手を打っていく時です。

一方で、一人ひとりにとって、働くということは安定した収入と生きがいの実現です。その意味で、今後は特に女性、シニア世代、障害者といった方々が、それぞれの特性と能力に応じてもっと活躍できるようにすることが重要です。それが地域経済の活性化にもつながりますので、ここは政治が後押しをしていくことが必要だと思っています。頑張っていきたいと思えます。

●無所属県民会議 鈴木正人 代表

南第17区 志木市 選出
平成17年 埼玉県議会議員に初当選(現在4期目)
平成27年 会派発足から代表に就任

— はじめに、番組をご覧の皆さんにごあいさつをお願いいたします。—

代表 皆さん、こんにちは。無所属県民会議の鈴木正人です。

私ども「無所属県民会議」は、地元の地域や故郷埼玉、そしてわが国の歴史伝統文化を大切にしながらも、埼玉県の持続的発展のためには既得権にとらわれず、変えるべきものはしっかりと変えていこうと考える、県民本位、県民ファーストの立場で県政発展を目指すべく集まった保守系無所属の会派であります。どうぞよろしくお願いいたします。



《会派としての取り組み》

— まず、今年度、どのような点に重点を置かれて取り組まれているのか、お聞かせください。—

代表 私どもの会派の共通認識は、常に自らが襟を正して県民の皆さまから関心を持っていただける県議会をつくっていこうということで、さらなる情報公開や議会改革を訴え、一歩でも前へ進めていこうと努力をしております。

平成29年2月定例会でも、今任期二度目となりましたが、議員の交通費などに当たる「費用弁償」の支給を現状の1日6千円～1万200円の定額支給から実際に交通費として掛かった分の実費支給に変更する条例改正案を提案しました。

《費用弁償について》

— 費用弁償については全国でもいろいろな動きがあるようですね。—

代表 はい。大阪府議会では費用弁償は既に廃止され、お隣の東京都議会でも今年の2月22日に島しょ部を除き廃止される議案が可決されました。近隣の神奈川県議会と千葉県議会も実費支給方式を採っておりますので、首都圏において「お手盛り」とも称されるこの定額支給方式を続けているのは、いよいよわが埼玉県議会のみとなっております。埼玉県議会でも実現すれば、試算で年間約3千900万円の削減効果があります。

今回も複数の会派から賛同を頂きましたが、残念ながら議会で過半数を持

つ自民党県議団の皆さんにはご理解いただけず、今回も否決となりました。
しかし、私ども無所属県民会議は諦めずに、定額支給から引き続き実費支給に変えるよう訴え続けてまいります。

《政務活動費について》

— 引き続き、議会改革に取り組んでいくのですね。—

代表 はい。また、残念なことに、先月、領収書を偽造して政務活動費約545万円を不正に受給していた議員がいたことが明らかになりました。

これは、実際取引をしていないPR会社の領収書を偽造し、チラシの投かんを依頼したように見せかけたもので、私文書の偽造や不正に県民の血税を得ていた詐欺罪に当たると思われ、決して許されるものではありません。

こうした行為を今後防ぐためにも、議会改革の先進地などで行われている政務活動費に使われた領収書のインターネットの公開も行っていくべきだと考えております。

膨大な事務作業をしている議会事務局の皆さんのご協力も頂かなければなりません。既にネット公開を行っている鳥取県議会に会派で視察に行き、領収書のネット公開についてお話を伺いました。



— 視察先では、どのような取り組みをされていたのでしょうか。—

代表 実は、領収書が原則公開になっていれば既にデータ化されているので、後は議会のホームページに載せるだけであって、事務量はそれほど増えることもないので、すぐに対応できるとのことでありました。

今回の不祥事を教訓に、議会の情報公開をさらに進めるためにも、議会として各議員別に帳簿や領収書のネット公開を進め、信頼回復を図るべきだと考えております。

《議会改革について》

— 他に議会改革として取り組んでいかれるものはありますか。—

代表 議会の論戦の場として見どころであるはずの討論が請願や継続審査ではできない状況を変えることや、一般質問に一問一答方式を取り入れるなど活発な議論の場としての県議会をつくり、埼玉県議会に光を当て、県民の皆さまに関心をさらに持っていただくようにするべきであると考えております。

東京都では、小池東京都知事誕生によって、今まで一部闇の中にあつた都議会に光が当たり、注目されることで議会が大きく変わりました。

— 7月の都議選は大きな話題となりましたね。—

代表 はい。そして、先の都議選では多くの都民の皆さんの民意を受けて新しい議員に入れ替わり、さらなる議会改革が進もうとしております。近隣であるわれわれ埼玉県議会も変わらなければなりません。

そこで、われわれの会派は何度も議会改革特別委員会の設置を賛同する他の会派の皆さんと共に議長にお願いいたしましたが、残念ながら設置されることはありませんでした。

今年の6月定例会の代表者会議では、前の任期では設置されていた「議会あり方研究会」の設置を提案いたしました。

今後、この提案がどういう扱いになるかを注目しているところでもあります。県民の皆さまもぜひ一緒に注目していただきたいと思います。

《今後の抱負》

— 最後に今後の抱負をお聞かせください。—

代表 はい。この他にも、多くの県民の給与が上がることによって景気回復が実感できる県内経済の発展、郷土に誇りと自信を持てる形での教育改革、健康長寿日本一を目指した取り組み、農業発展のための普及指導員の拡充など、私たち無所属県民会議は、これからもしっかりとした信念を持ちながら、議会改革・政策提言に取り組んでまいりたいと思います。

[▲トップへ](#)

議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。

【協力 埼玉県いけばな連合会】



展示期間：
8月14日
～8月18日
作者：
正風流一光会
桐生一光様
花材：
雲竜柳、ホオズキ、八つ手、
ハイブリッド
チース



展示期間：
8月21日
～8月25日
作者：
翠蒲流
原島翠蒲様
花材：
ドラセナ、チース(キノブラン)、ピンクッション

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇

【Part1】



〈正風流一光会 桐生一光様〉

Q: 今回の作品のイメージを教えてください。

A: 「お盆」をイメージしました。朱色のホオズキは盆提灯に見立てました。また、“竜”の字を冠する雲竜柳と、葉が大きな手のようで千客万来や魔除けの意味をもつ八つ手も一緒に生けることで、縁起の良さも作品に込めました。白色のハイブリッドチースもアクセントに使い、暑さを乗り切れる爽やかさも表現しました。

Q: 上下が逆向きに生けてある雲竜柳がありますね。

A: 同じ向きで生けられ、先端になるほど曲がりくねり細くなる雲竜柳の中で、太い幹の部分が上にくるように一本だけ逆向きに生けることで、作品に力強い一本の芯を通しました。

【Part2】



〈翠蒲流 原島翠蒲様〉

Q: 花を生けるときに心掛けたことを教えてください。

A: 最近の長雨の影響で良い花がなかなか手に入りづらくなっていましたが、持ちが良くて状態の良いチースとピンクッションが手に入ったので、それらを中心に使って作品から“かわいらしさ”を感じられるように生けました。

Q: かわいらしいながらも目を引く作品ですね。

A: 展示する場所の議事堂ホールは少し暗いのですが、オレンジ色のピンクッションと黄色のチーズをバランスよく使うことで、暗い中でも彩りや明るさを感じられるようにしました。花器にも年代物で暗い茶色のものを使い、オレンジ色と黄色がより引き立つようにしました。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。》

[▲トップへ](#)

【お問い合わせ】

●「[メールマガジン埼玉県議会](#)」の登録・解除は[こちらから](#)》

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923

Copyright 2008. Saitama Prefectural Assembly 無断転載を禁じます。

